

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	『食文化あふれる国・日本』プロジェクト			担当部局庁	文化庁		作成責任者
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(生活文化連携担当)		参事官(生活文化連携担当)高橋一成
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法 第4条、第12条、第24条、第29条の2、第35条			関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)		
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費		
施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_12-1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	少子高齢化、生活様式・嗜好の変化等による食生活の急激な変容、新型コロナウイルス感染症のまん延による「わざ」の披露の機会の減少等により、食文化の継承は喫緊の課題である。 このため、本事業では、特色ある食文化の継承・振興に取り組むモデル事例を形成するとともに、食文化のブランド化や情報発信により食文化に対する国民の理解を促進し、また食にまつわる新たな認定制度の創設、文化財指定等に向けた調査研究等を推進し、食文化の継承・振興と、それによる地域の活力向上を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	1. 食文化に対する国民の認識：国内では、食を文化として捉える意識が薄い。地域の食文化の価値に地元の人が気づいていないことが多い。 2. 継承活動：基本となる家庭での食文化継承に課題。過疎化等により地域の食文化の担い手が不足。日本料理等の継承者の減少。 3. 文化財保護法に基づく保存・活用：食文化が文化財保護法の対象になり得るとの認識が無い。文化財指定等に必要な学術価値判断の基盤が未整備。芸術性については識者による評価が必要。 4. 国内外への発信：観光や輸出促進につながる食のブランディング等に有用な食文化の価値付けが不十分。各地の食文化を国外を含む地域外に発信する取組が弱い。 5. 推進体制：担い手間の連携、産学官の関係者を巻き込む取組が不十分。 6. 研究基盤の構築：食文化を総合的に研究する体制が未成熟。調査記録へのアクセスが容易でない。研究者の発表・交流の場が少ない。						
事業概要 (5行程度以内)	①「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業 食文化の文化財への登録等、国内外への食文化の魅力発信等の推進を図るため、地方公共団体等による食文化ストーリーの構築・発信を行う取組モデルの形成を支援する。 ②調査研究 文化財指定等に向けた基盤的な調査を実施する。 ③食文化機運醸成事業 「100年フード」や「食文化ミュージアム」の認定を通じた食文化のブランド化を進めるとともに、HP等における情報発信等により、国民の食文化に対する理解を促進を図る。 ④食でつながる日本の文化認定事業 多様な地域の伝統食やそれを支える文化財など、食にまつわる文化の魅力の発信等の取組を認定・支援を実施する。						
事業概要URL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/shokubunka/index.html						
実施方法	委託・請負、補助						
補助率等	「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業の補助率：定額						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	149.1	188.2	192.1	264.3
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	149.1	188.2	192.1	264.3	
	執行額(G)			123.5	163.3		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	83%	87%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	83%	87%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	文化振興費			大阪・関西万博に向けた機運醸成事業の実施等に伴う増額要求。		
	(目)	文化芸術振興委託費	96	168	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	(目)	文化芸術振興費補助金	81	81			
	(目)	職員旅費	5	6	重要政策推進枠 93百万円		
	(目)	庁費	4	5			
	(目)	諸謝金	3	2			
	(目)	委員等旅費	3	2			
		その他	0	0			
	計(A)		192.1	264.3			

活動内容① (アクティビティ)		地域の特色ある食文化の継承・振興に取り組むモデル地域に補助を実施し、「食文化ストーリー」の構築・発信等を支援する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		モデル地域が地域の特色ある食文化の文化的価値を伝える食文化ストーリーを構築する。	食文化ストーリー数	活動実績	食文化ストーリー数	－	10	20	－	－
				当初見込み	食文化ストーリー数	－	8	17	27	37
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	地域の食文化に対してストーリーが構築されることにより、その価値を地域住民が認知し、食文化の保護・継承の必要性が認識され、地方公共団体や関連団体において文化財化への取組につながる。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		食文化の文化財化に取り組む自治体・団体等の増加	食文化の文化財化に取り組む自治体・団体等の数	成果実績	件	－	11	23	－	
				目標値	件	－	9	20	62	
				達成度	%	－	122.2	115	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		地方公共団体担当者及び関連団体に対する調査、ヒアリング								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	文化財化への取組を推進することにより、文化財保護法に基づく食文化の保存・活用が促進される。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		文化財登録された食文化数の増加	文化財登録された食文化件数	成果実績	件	－	5	10	－	
				目標値	件	－	4	6	14	
				達成度	%	－	125	166.7	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		食文化分野において指定・登録された文化財件数								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	文化財指定・登録等を通じて、我が国の食文化の国民認知度・喫食率等が向上する。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		(1)食文化の国民認知度の向上 (2)食文化の国民喫食率の向上	文化財登録等された (1)食文化の国民の認知度 (2)食文化の国民の喫食度 ※(1)は右記参照・(2)は令和10年度までに15%。	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	25	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		※公開プロセスにおける取りまとめを踏まえ、指標の見直し含め詳細を調整中								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		文化財指定等に向け、基盤的な調査を実施。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		文化財の候補となりうる食文化の情報の蓄積	調査された食文化件数	活動実績	件	－	2	6	－	－
				当初見込み	件	－	1	3	5	7
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	食文化に関する学術的調査研究が蓄積され、食文化が文化財保護法の対象となるための食文化研究の基盤が構築されることにより、文化財化に取り組む地方公共団体や関連団体が増える。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		食文化の文化財化に取り組む自治体・団体等の増加	食文化の文化財化に取り組む自治体・団体等の数	成果実績	件	－	11	23	－	
				目標値	件	－	9	20	62	
				達成度	%	－	122.2	115	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		地方公共団体担当者及び関連団体に対する調査、ヒアリング								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	文化財化への取組を推進することにより、文化財保護法に基づく食文化の保存・活用が促進される。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		文化財登録された食文化数の増加	文化財登録された食文化件数	成果実績	件	－	5	10	－	
				目標値	件	－	4	6	14	
				達成度	%	－	125	166.7	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		食文化分野において指定・登録された文化財件数								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	文化財指定・登録等を通じて、我が国の食文化の国民認知度・喫食率等が向上する。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		(1)食文化の国民認知度の向上 (2)食文化の国民喫食率の向上	文化財登録等された (1)食文化の国民の認知度 (2)食文化の国民の喫食度 ※(1)は右記参照・(2)は令和10年度までに15%。	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	25	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		※公開プロセスにおける取りまとめを踏まえ、指標等詳細を調整中								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

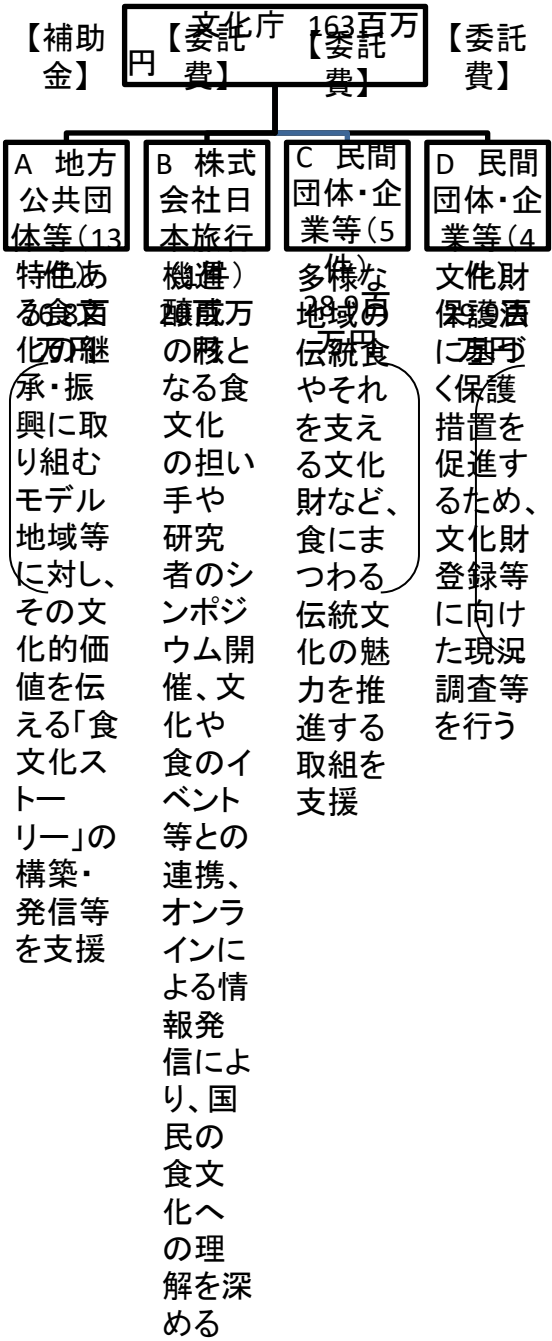
活動内容③ (アクティビティ)		「100年フード」等を通じた食文化のブランド化及び情報発信を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		「100年フード」等を通じた食文化のブランド化及び情報発信	(1)100年フード等認定数 (2)食のイベントの実施数 ※(1)は右記・(2)は下記参照	活動実績	件	－	131	201	－	－
				当初見込み	件	－	100	200	250	280
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	※(2) 活動実績 R2 R3 R4 R5 R6 － 1 13 － － 当初見込み － 1 1 3 3 ※設定理由:100年フード等の登録や食文化に関連した食のイベントを通じて、イベント等の参加者の食文化に対する認知度が向上する。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		イベント等の参加者における食文化への認知度の向上	イベント等の参加者における食文化の認知度	成果実績	%	－	－	5.8	－	
				目標値	%	－	－	5	20	
				達成度	%	－	－	116	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		食のイベント参加者等に対するアンケート								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	食文化に対する認知度が上がることにより、さまざまな食文化を用いた経済活動を行う団体等が増える。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		食文化を用いた経済活動を行う自治体・団体等の増加	食文化を用いた経済活動を行う自治体・団体等の数	成果実績	件	－	142	231	－	
				目標値	件	－	109	230	416	
				達成度	%	－	130.3	100.4	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		100年フードに認定された団体及びそれらの活動をサポートしている団体、その他食文化の活用・支援に取り組んでいる団体の数(調査、ヒアリング等により把握)								
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	食文化を用いた経済活動を行う団体等が増加することで、我が国の食文化の国民認知度・喫食率等が向上する。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		(1)食文化の国民認知度の向上 (2)食文化の国民喫食率の向上	文化財登録等された (1)食文化の国民の認知度 (2)食文化の国民の喫食度 ※(1)は右記参照・(2)は令和10年度までに15%。	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	25	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		※公開プロセスにおける取りまとめを踏まえ、指標の見直し含め詳細を調整中								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容④ (アクティビティ)		多様な地域の伝統食やそれを支える文化財など、食にまつわる伝統文化を組み合わせた取組に対し支援を実施。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		食文化と食にまつわる伝統文化を組み合わせた取組に対し人材育成や情報発信に係る支援を実施	(1)支援件数(右記参照) (2)認定件数 ※(2)は令和7年までに8件	活動実績	件	-	-	4	-	-
				当初見込み	件	-	-	4	8	12
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	支援取組等を通じた情報発信により食文化に対する認知度が向上する。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		イベント等の参加者における食文化への認知度の向上	イベント等の参加者における食文化の認知度	成果実績	%	-	-	5.8	-	
				目標値	%	-	-	5	20	
				達成度	%	-	-	116	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		支援取組等の参加者に対するアンケート								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	食文化に対する認知度を上げることにより、さまざまな食文化の活用に取り組む団体や、それらの取組を支援する団体等が増える。								
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		食文化を用いた経済活動を行う自治体・団体等の増加	食文化を用いた経済活動を行う自治体・団体等の数	成果実績	件	-	142	231	-	
				目標値	件	-	109	230	416	
				達成度	%	-	130.3	100.4	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		100年フードに認定された団体及びそれらの活動をサポートしている団体、その他食文化の活用・支援に取り組んでいる団体の数(調査、ヒアリング等により把握)								
↓	成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	食文化を用いた経済活動を行う団体等が増加することで、我が国の食文化の国民認知度・喫食率等が向上する。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		(1)食文化の国民認知度の向上 (2)食文化の国民喫食率の向上	文化財登録等された (1)食文化の国民の認知度 (2)食文化の国民の喫食度 ※(1)は右記参照・(2)は令和10年度までに15%。	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	25	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		※公開プロセスにおける取りまとめを踏まえ、指標の見直し含め詳細を調整中								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

諸謝金	1.4百万円
職員旅費	2.4百万円
委員等旅費	0.2百万円



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	太地町教育委員会	8.9	事業費	雑役務費、借損料、諸謝金、印刷製本費、旅費、通信運搬費、消費税相当額	7.7
			再委託費	雑役務費	7
			人件費	人件費	4.7
			一般管理費		1.2
計		8.9	計		20.6
C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	雑役務費、借損料、諸謝金、旅費、通信運搬費、会議費、消費税相当額	8.3	事業費	雑役務費、旅費、諸謝金、借損料、印刷製本費、会議費、通信運搬費、消費税相当額	6.1
人件費		1.6	人件費		3
一般管理費		0.5	一般管理費		0.9
計		10.4	計		10

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

